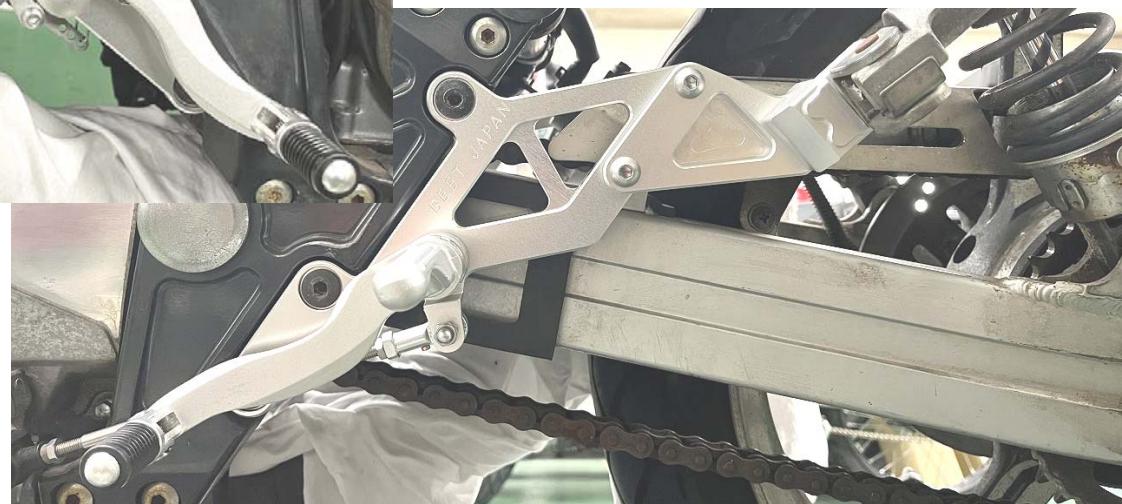


KAWASAKI ZEPHYR Hyper Bank 〈取付説明書〉



おもな仕様

◆ チェンジ側・ブレーキ側 ステップホルダー	➤ アルミ (ジュラルミン) 削り出し
◆ チェンジ側ペダル・ブレーキ側ペダル	➤ アルミ (ジュラルミン) 錫造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➤ アルミ (ジュラルミン) 錫造
◆ チェンジペダルカム・ブレーキペダルカム	➤ アルミ (ジュラルミン) 削り出し
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー	➤ アルミ (ジュラルミン) 錫造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➤ ステンレス (耐食、耐候性素材) 削り出し
➤ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➤ ステップバー 固定式仕様
➤ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➤ 純正ブレーキスイッチ使用

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2~3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

- ❖ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウエス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダー を取付けている M8 純正ボルトを緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

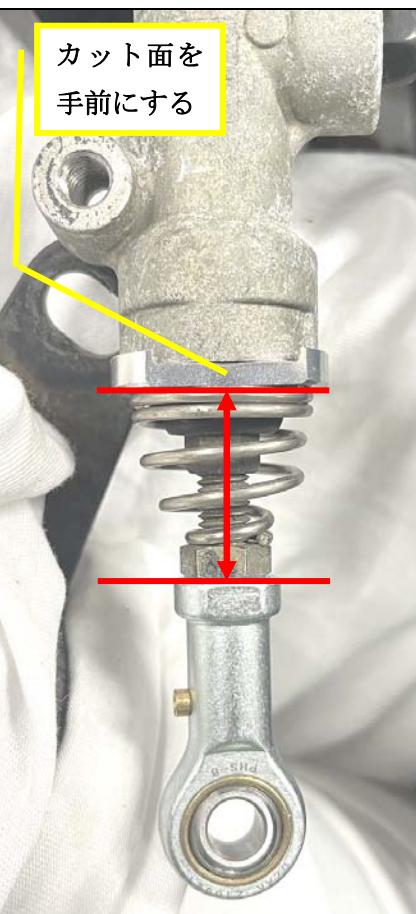
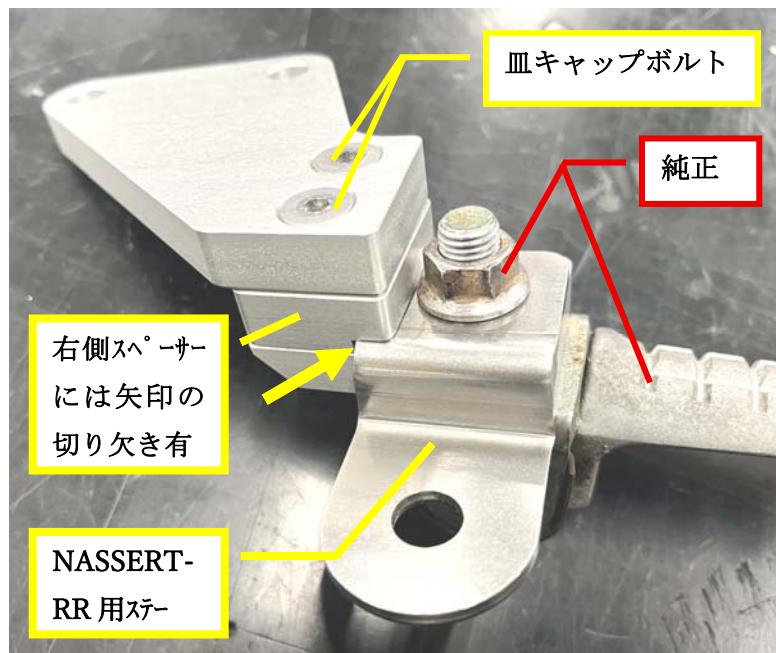
リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、
プッシュロッドを 10mmのスパナで回し、ノーマルステップをマスターシリンダーから完全に取り外します。
(※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します)

純正ブレーキスイッチスプリングをブレーキスイッチから取り外す。

【左右タンデムホルダーの組付け】

下図の様に、皿キャップボルトM 6 × 30mmを使用し組付ける。

※NASSERT-RR 用ステーは必要な場合のみ取り付ける。
右側スペーサーにのみ、ステー対応の切り欠きがあります。



左図の様に、純正マスターシリンダーに

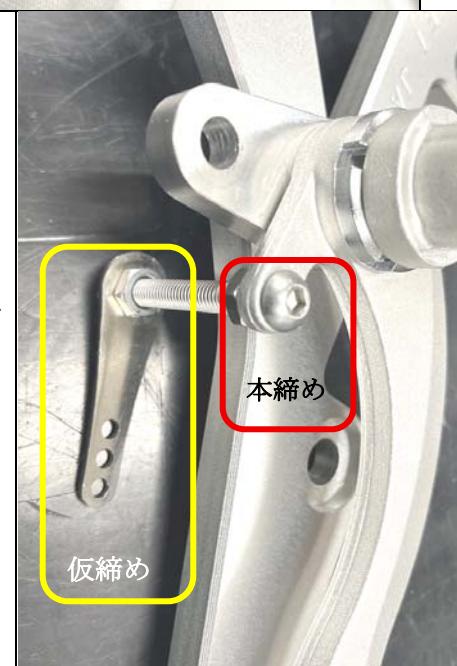
- a) H/B リターンスプリングカラー
- b) ペダルリターンスプリング
No.10
- c) 純正 M8 アジャストナット

の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、
スプリングの上端と、一番下のナットの上端との距離を 27mm
(※ 左図矢印参照) に調整し
ピロボールを取り付けて、M8 ナットを締めてピロボールを固定する。

※ブレーキペダル高さが合わない場合は調整をする。



ブレーキスイッチに、付属の
ブレーキスイッチスプリング
を取り付ける。



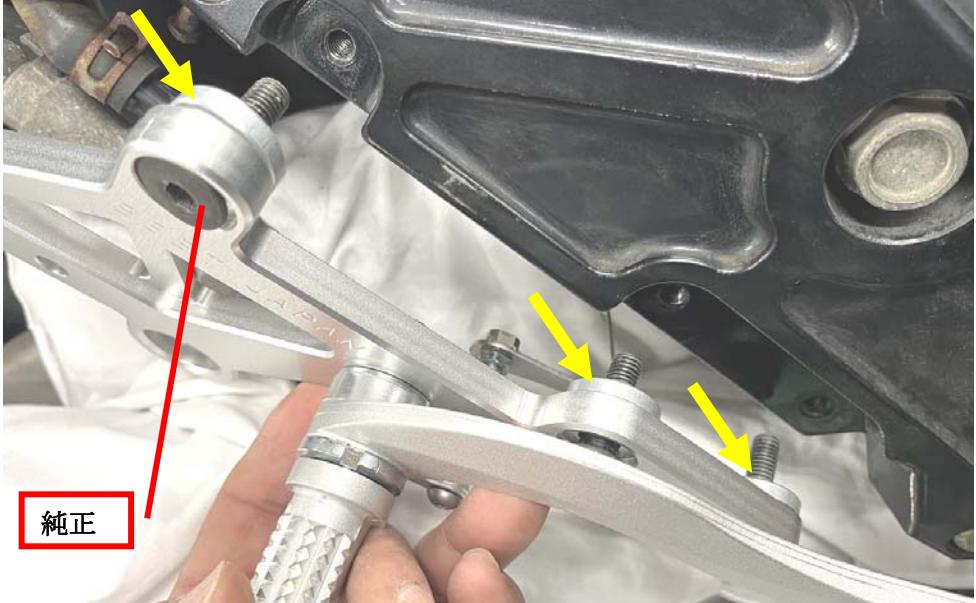
左図の様に、ブレーキスイッチステーを組み付ける。

※黄枠部分は、ブレーキランプ調整の際に本締めする。

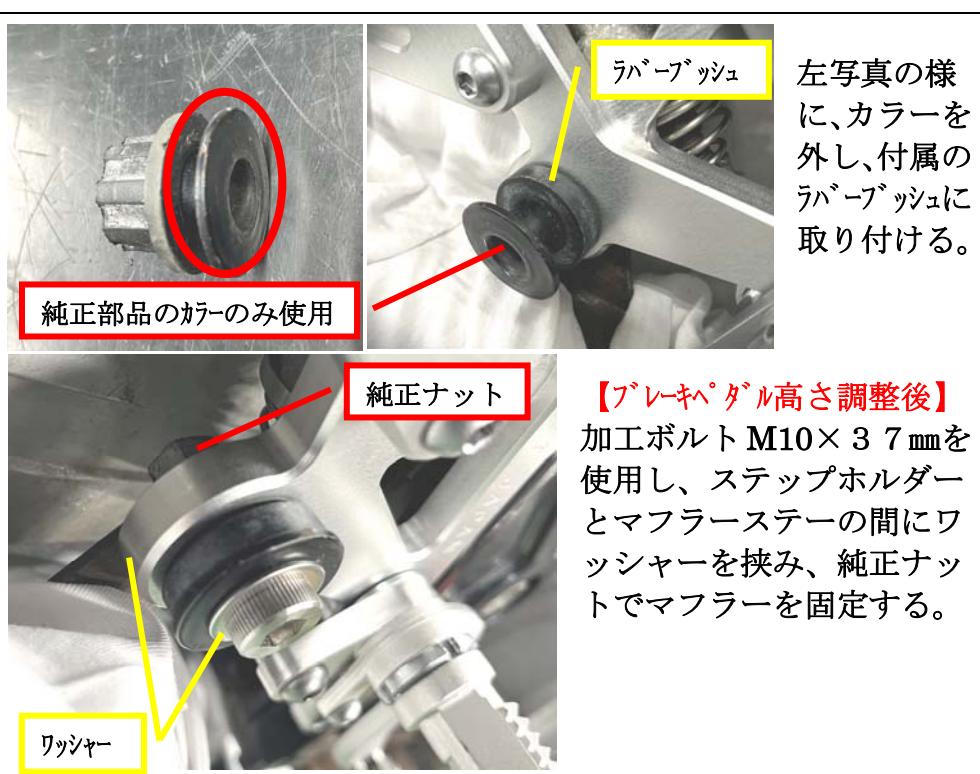
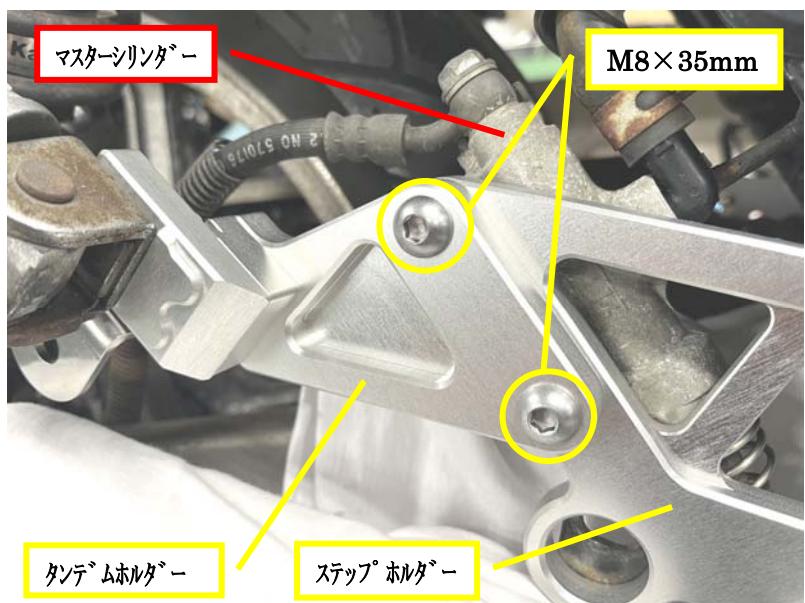


左図の様に、ブレーキスイッチスプリングを取り付ける。

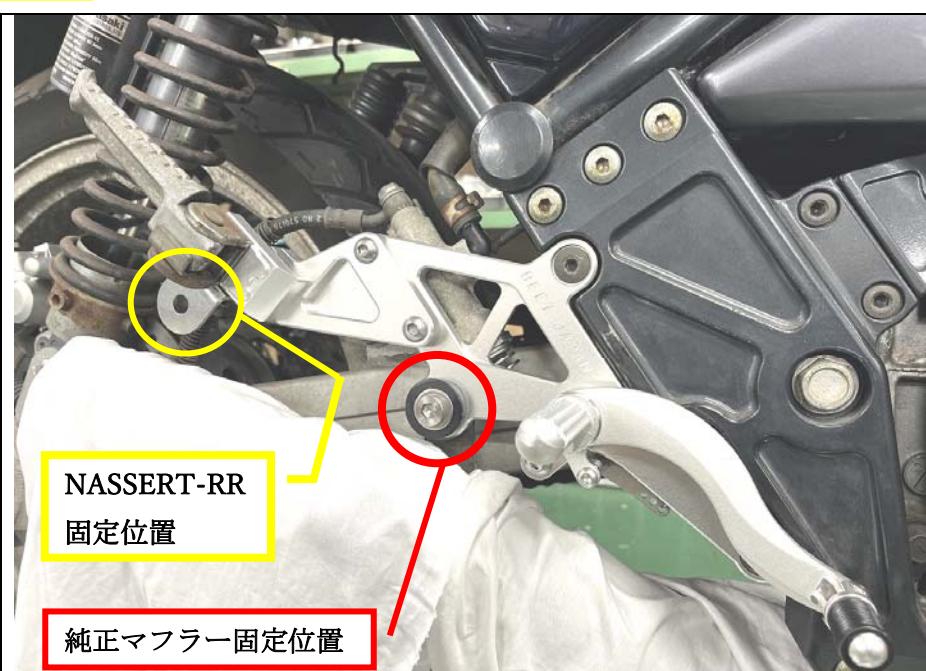
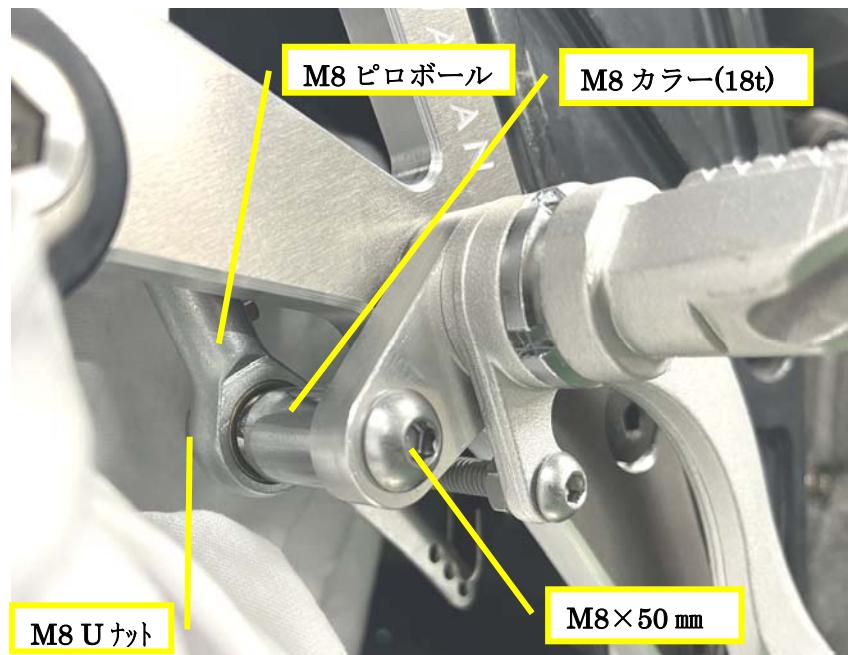
右図の様に、純正のステッププレート取り付けボルトを使用し、付属のアルミカラーを挟んで、フレームにステップホルダーを取り付ける。



丸キャップボルト M8×35mm を使用し、タンデムホルダーとマスターシリンダーを取り付ける。

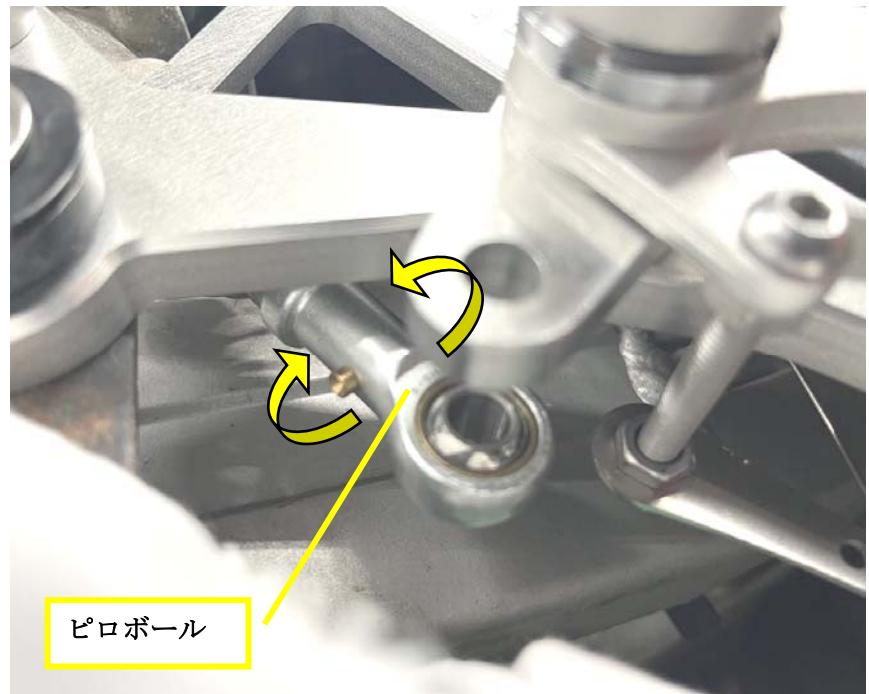


下写真の様に、丸キャップボルト M8×50mm とカラー、M8U ナットを使用し、ブレーキペダルとマスターシリンダーのピロボールを繋げる。



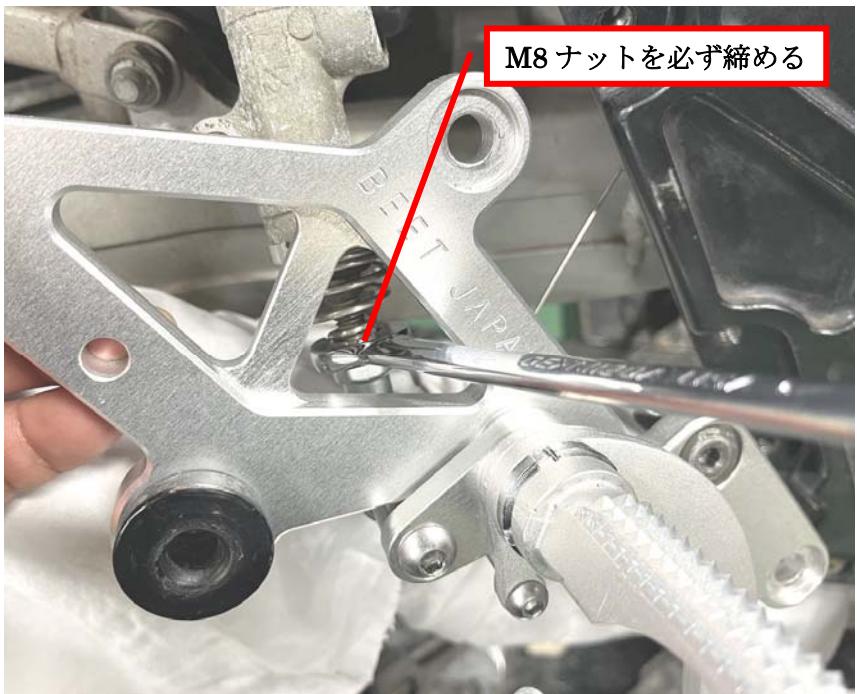
NASSERT-RR は、M10×20 mm、M10 ワッシャー 2 枚、M10 U ナットを使い固定する。

ブレーキペダルの高さが合わない場合は、ブレーキペダルの連結を外しピロボールを回転させて、好みの高さに合わせる。



ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締め
ピロボールが回らない様に固定します。

※工具が入らないため、タンデムホルダーとステップホルダーを、下写真の様に足り外す必要があります。



- ペダルが上向きすぎるのは…
ピロボールを締めてペダルの先端を下げます

- ペダルが下向きすぎるのは…
ピロボールを緩めてペダルの先端を上げます

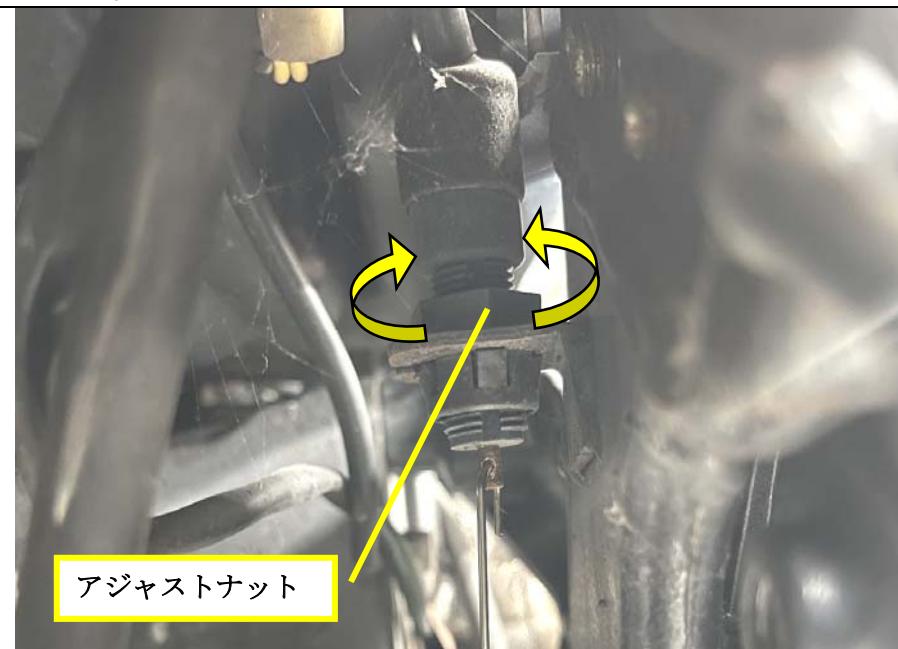
ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

ブレーキペダルの高さ調整後、ブレーキスイッチスプリングが遊ばない状態で、ストップランプスイッチロッドステーを固定し、ナットを本締めする。



ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する事を確認する。

ブレーキスイッチのアジャストナットを回転させて、微調整が可能。



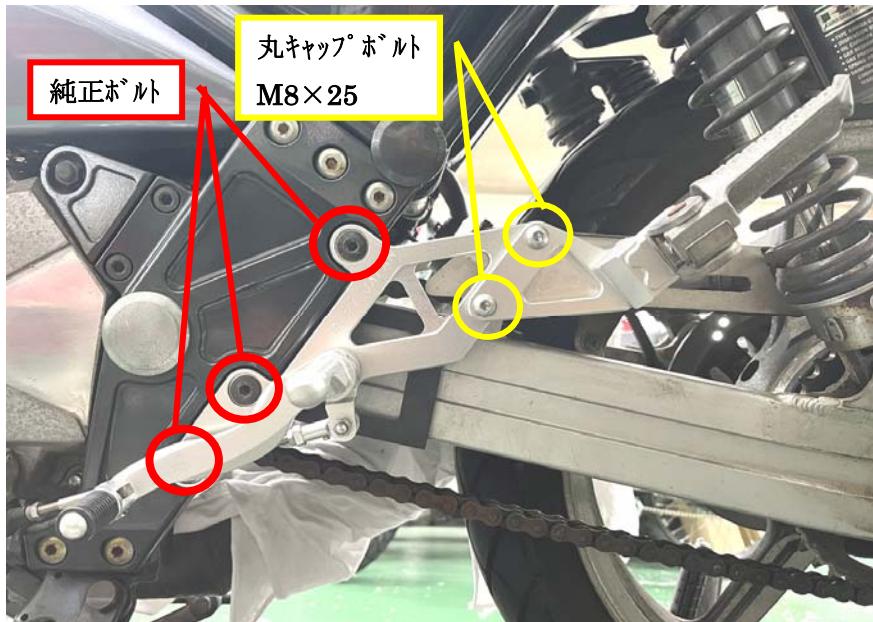
❖ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

LH (チェンジ側) の取り付け

- 純正チェンジロッドを固定しているナットを緩め、チェンジロッドを回転させて取り外す。
- 純正ステップを車体に固定している純正 M8 ボルトを外しステップを外します。※純正 M8 ボルトは使用します。

ブレーキ側同様に、ステップホルダー(純正ボルト/ワッシャー)、タンデムホルダー(丸キャップボルト M8×25)を取り付ける。



純正チェンジカムのピロボールとチェンジペダルのピロボールを、エクステンションロッドでつなげる。



チェンジペダル高さを、エクステンションロッドの長さを調整し好みの高さに合わせる。

調整後、必ず M6 ナットを本締めする。

※ エクステンションロッドを取り付ける際は、

- | | |
|-----------------|--------|
| ➤ チェンジカムのピロボール | M6 逆ネジ |
| ➤ エクステンションロッド前側 | M6 逆ネジ |
| ➤ エクステンションロッド後側 | M6 正ネジ |
| ➤ チェンジペダルのピロボール | M6 正ネジ |

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。!



停車状態で、シフトチェンジ操作を 2~3 度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

❖ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

» 注意点 «

- ◆ 取付けるマフラーによって、取り付けが出来ない場合があります。
- ◆ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◆ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。
- ◆ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL. 072 (257) 7600
FAX. 072 (259) 6600

(株)日本ビート工業
まで

- ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

BEET Website

Web サイトを開設しております。
左記 URL にてご覧下さい。